

2017年11月16日

報道関係各位

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

**2017年度「PRアワードグランプリ」
「ブロンズ」受賞7エントリーを決定
「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」の各賞を
12月6日(水)開催の最終選考会で選出・決定**

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（理事長：近見竹彦）は、このほど、2017年度「PRアワードグランプリ」グランプリ候補選出審査会を開催し、12月6日に開催予定の最終選考会に臨むグランプリ候補8エントリーを選出いたしました。

あわせて「ブロンズ」受賞となる7エントリーを決定いたしました。

今年度のPRアワードグランプリには、75件のエントリーが寄せられ、PR（パブリックリレーションズ）への高い関心が示されました。部門別の応募内訳ならびに「ブロンズ」受賞7エントリーとグランプリ候補となった8エントリーの内訳は以下のとおりです。

《部門別 応募内訳》

コーポレート・コミュニケーション部門	： 16 エントリー
マーケティング・コミュニケーション部門	： 36 エントリー
ソーシャル・コミュニケーション部門	： 16 エントリー
インターナル・コミュニケーション部門	： 3 エントリー
調査・研究部門	： 4 エントリー
合計	： 75 エントリー

(2016年度は合計107エントリー)

《ブロンズ受賞作品》（7エントリー・エントリー順）

■ 社歌で中小企業を元気に！ 中小企業、支援プロジェクト

（ソーシャル・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通パブリックリレーションズ／株式会社電通
事業主体：株式会社電通（ウェブサイト名：HANJO×HANJO）

■ PR パーソン生まれの“味のメディア化” 『プリウス試乗味プロジェクト』

（マーケティング・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通／株式会社電通パブリックリレーションズ
事業主体：株式会社トヨタマーケティングジャパン

■ Banana Message

（マーケティング・コミュニケーション部門）

エントリー会社：電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社
事業主体：株式会社ドール

■ おいしいプログラミング学習アプリ [GLICODE®]

（コーポレート・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通／株式会社電通パブリックリレーションズ
事業主体：江崎グリコ株式会社

■ 「定時退社訓練」 by よなよなエール

～「働き方改革」に本音とユーモアで一石を投じて、国と企業と生活者を動かせ～

（コーポレート・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通デジタル
事業主体：株式会社ヤッホーブルーイング

■ LIXIL 「グローバルな衛生課題の解決」に向けて

（ソーシャル・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社 LIXIL
事業主体：株式会社 LIXIL

■ TRY! Noodle Cradle

検証！うどんをすする音で本当に赤ちゃんは泣きやむのか？

（コーポレート・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通
事業主体：香川県

《グランプリ・ゴールド・シルバー候補》（8 エントリー・エントリー順）

以下の8エントリーの中から「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」の各賞を決定します。

■ 「ちょうどこの高さ。」

（ソーシャル・コミュニケーション部門）

エントリー会社：ヤフー株式会社

事業主体：ヤフー株式会社

■ WITH STAMP (=Your name with REDLIST Animals)

（マーケティング・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社アサツー ディ・ケイ/PARTY

事業主体：WWF ジャパン

■ FISHERMAN CALL

（ソーシャル・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通

事業主体：社団法人フィッシャーマン・ジャパン

■ 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 PR・プロモーションプロジェクト

（ソーシャル・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社サニーサイドアップ

事業主体：一般社団法人日本アンガーマネジメント協会

■ 7年間のロコモティブシンドローム啓発運動

～課題先進国だからこそできたCSVプラットフォーム～

（ソーシャル・コミュニケーション部門）

エントリー会社：ロコモ チャレンジ！推進協議会

（公益社団法人日本整形外科学会と株式会社博報堂のJV）

事業主体：ロコモ チャレンジ！推進協議会

■ この国に眠る 女性 300万人の [潜在労働力] に活躍の場を。

主婦を活かす、新・マクドナルド人事戦略PR

（コーポレート・コミュニケーション部門）

エントリー会社：株式会社電通

事業主体：日本マクドナルド株式会社

■ 聞こえる選挙 | 東京都議選, 衆議院選特設サイト

(コーポレート・コミュニケーション部門)

エントリー会社: 株式会社電通

事業主体: ヤフー株式会社

■ 「業界の壁」を取り除く日本気象協会の共創型 BtoB コミュニケーション
「気象」×「ビジネス」でサプライチェーン全体の位置づけを変える!

(コーポレート・コミュニケーション部門)

エントリー会社: 一般財団法人日本気象協会/株式会社オズマピーアール

事業主体: 一般財団法人日本気象協会

2017 年度 PR アワードグランプリ 「グランプリ選出審査会」 開催概要

○日 時 2017 年 12 月 6 日 (水) 13:30-17:45

○場 所 六本木アカデミーヒルズ 49 「オーディトリウム」

○審査委員長 (敬称略)

嶋 浩一郎 株式会社博報堂ケトル 代表取締役社長・共同 CEO

○審査委員 (敬称略/氏名 50 音順)

雨宮 和弘 クロスメディア・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役

上岡 典彦 株式会社資生堂 コーポレートコミュニケーション本部 広報部長

遠藤 祐 株式会社オズマピーアール 取締役副社長

小林 右樹 一般社団法人企業研究会 研究協力員

高梨 修 公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 顕彰委員会委員
/ホヌ プランニング 代表

中里 忍 ブルーカレント・ジャパン株式会社 戦略 PR プランナー

松本 洋司 株式会社電通パブリックリレーションズ

関西支社 プランニング&コンサルティング局局长

吉宮 拓 株式会社プラップジャパン 執行役員 第 2 コミュニケーションサー
ビス本部 本部長

○特別審査員 (敬称略/氏名 50 音順)

阿久津 聡 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科教授
大宅 映子 ジャーナリスト・評論家・コメンテーター
田中 里沙 事業構想大学院大学 学長/宣伝会議 取締役 メディア・情報統括

○進行 (予定)

12 : 30 開場、受付開始
13 : 30 グランプリ候補 8 エントリーのプレゼンテーション
15 : 55 (coffee break)
16 : 10 トークセッション (審査員は別室で最終審査)

17 : 10 休憩
17 : 20 「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」各受賞エントリーの発表
審査委員長および特別審査員による振り返り
17 : 45 終了

なお、引き続き同会場で「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」各受賞エントリーの表彰式を行います。

また、「PRアワードグランプリ」グランプリ選出審査会は公開で実施します。

聴講希望者は下記 URL からお申し込みください。

※ 11 月 27 日から受け付けを開始します。

https://39auto.biz/pr-shikaku/touroku/award_tyouko.htm

ただし席数に限りがあり、応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。
お席が確保できなかった方、及び当日受付の場合、立ち見となる場合がございますので、
予めご了承ください。

●この件に関するお問い合わせ
公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
担当 : 福家・渡邊・木崎
TEL: 03-5413-6760
Email : award@prsj.or.jp

参考資料 1

<応募部門について>

■ コーポレート・コミュニケーション部門

社会の支持と理解を得て、企業・公共機関・団体の活動を円滑に推進するためのコミュニケーション活動

※日常的な広報・PR活動、ブランディング、レピュテーションマネジメント、危機管理対策など

■ マーケティング・コミュニケーション部門

商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動

※イベント・キャンペーン、パブリシティ、ウェブサイト、ソーシャルメディア（ブログ、フェイスブック、ツイッター等）、各種アプリ、カスタマーリレーション施策など

■ ソーシャル・コミュニケーション部門

社会の重要な構成員として企業・公共機関・団体の果たす社会的役割の訴求や社会貢献、積極的に社会の発展や環境の維持発展などを目的としたコミュニケーション活動

※CSR活動、環境コミュニケーション、NPO、NGO活動など

■ インターナル・コミュニケーション部門

組織内における所属員へのビジョンの浸透、価値観の共有、行動喚起、内部コミュニケーションの活性化など、インターナル・ターゲットに対する広義のコミュニケーション活動

※内部向けコミュニケーションシステム、ツールの開発、継続的な内部向けイベントメディアを通じた活動など

■ 調査・研究部門

独創的なアイデアや手法で広報・PR領域における調査研究・理論構築を行い、業務の発展に寄与貢献した活動

※PR領域における調査・研究活動とその理論化・情報発信、PRパーソンの人材育成、業務マネジメント、およびサービス・技術・システム・ツールなどの開発や実践

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRSJ）は、1964年に結成された日本PR協会と1974年に設立された日本PR業協会が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む約530名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益法人の認定を受け公益社団法人となりました。

主要な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、年鑑「PR Yearbook」や会員誌「協会ニュース」の刊行、PRにかかわるデータを網羅した「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞 PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与し奨励に値する成果を収めた人物を表彰する「日本PR大賞 PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の普及と啓発、広報・PRスキルの向上などに取り組んでいます。

2007年には、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など幅広い人々に「認定PRプランナー」としての資格を付与しています。

また2009年には、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を新たに開講いたしました。

2010年4月に「広報・PR概論（PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト）」、2011年3月に「広報・PR実務（PRプランナー資格認定制度2・3次試験対応テキスト）」、2012年4月に「広報・PR 資格試験問題集 PRプランナー資格認定制度 1次・2次・3次試験過去問題集」を出版するなど、各種の事業を通じて、広報・PRの普及と発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147